




論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 673 号	氏名	原口 渉
学位審査委員	主 査	平野 明喜	  
	副 査	江口 晋	
	副 査	高橋 晴雄	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は mRNA の安定性調節に関与する AUF1 が他の悪性腫瘍と同様に神経膠腫においても発現が確認され、予後のバイオマーカーとなり得るかどうかを検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価</p> <p>長崎大学病院で摘出された 71 例の組織標本の免疫組織染色を行い、2 人の観察者が 200 個の細胞について AUF1、Bcl2、Ki-67 の発現を観察し、染色度と陽性細胞数によって結果をスコア化して統計学的に解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、AUF1 の発現と Ki-67 および WHO の Grade との逆相関が確認された。予後の分析では AUF1 との間に有意の相関がみられなかったが、AUF1 スコアの高い症例が生存期間は長い傾向にあり、今後、神経膠腫の診断、再発の予測判定や治療に寄与することが大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は神経膠腫の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと